

## 2011 年度 第 3 回常任幹事会 議事録

日時：2011 年 7 月 21 日（木）13:30～15:45

会場：京都大学吉田南キャンパス 人間・環境学研究科棟 地階 大講義室 B23 (A)

出席者：萩中（武庫川女大薬），市村（阪大院理），井上（JCL ハイオッセイ），岡本（住友化学），尾崎（関学院大理工），加納（京大院農），紀本（紀本電子），椎木（阪府大先端科学イノベーションセンター），鈴江（紀本電子），鈴木（近大薬），諏訪（阪大院理），辻（阪大院工），永井（産総研関西センター），西（京大院工），藤田（阪薬大），堀田（奈良教育大），前田<sub>耕治</sub>（京工繊大院工芸科学），前田<sub>初男</sub>（兵庫医療大薬），

### 1. 第 2 回常任幹事会議事録の承認

萩中支部長から，本年 4 月 8 日（金）に開催された第 2 回常任幹事会の議事録について，資料に基づき報告があり，これを全員一致で承認した。

### 2. 本部理事会および本部支部連絡会議報告

#### (1) 本部理事会報告事項について

本部理事・市村氏から，幹事会資料 No. 1 に基づき，理事会報告があった。まず，4 月 15 日開催の第 2 回理事会において，①東日本大震災の被災会員 10 数名に対する 1 年間の会費減免を実施すること，②震災対応 WG を日本地球化学会および日本放射化学会と連携して新設すること，③第 62 年会（2013 年）は近畿支部にて開催すること，④ JAIMA との「東京コンファレンスに関する覚え書き」をいったん破棄し，今年度は開催しないこと，および今後については改めて協議すること，が決まった旨，説明があった。また，6 月 24 日開催の第 3 回理事会にて，①60 周年記念事業への寄付金 538 万円を記念誌「日本における分析化学」の発刊と公益法人移行事業へ当てること，②名誉会員推薦の周期を 5 年から 2 年などに変更すること，③支部・懇談会の会計の一本化が今後再び議題となりそうであること，④学会賞等選考方法について補欠選考委員の配置や利害関係者（同じ研究室に所属する者，共著論文がある者など）の除外を考慮し変更することなどが決まった旨，説明があった。また，近畿支部在籍の 2011 年度各賞受賞者が紹介された。

#### (2) 本部支部連絡会議報告事項について

次期支部長・藤田氏から，資料 No. 1 に沿って，①会員数が減少傾向であるが 2010 年度収支は 500 万円程黒字であったこと，②第 62 年会が近畿支部の担当であること，③近畿支部推薦の 4 名（木村優氏，中川照眞氏，松井正和氏，Richard N. Zare 氏）が名誉会員として承認されたことが報告された。また，資料 No. 1-1 に基づき，2011 年度第 1 回役員等候補者推薦委員会において支部から推薦した 10 名の中から 5 名が役員等候補者選考委員に選定された旨，報告があった。

### 3. 各種事業計画について

#### 1) 第 58 回機器による分析化学講習会について

機器分析講習会委員長・前田耕治氏から，常任幹事会当日から開催されている当該講習会について，

①定員 62 名に対して 53 名の参加者があり、そのうち 21 名が学生であったこと、②企業からの参加者が少ないことが若干懸念されること、③来年度から実施場所が甲南大学に変更されることを踏まえ講習科目について茶山氏を中心に再検討する予定であることなどが報告された。

## 2) 支部講演会について

支部講演会 WG 責任者・鈴木氏から、資料 No. 2 に記された今後の講演会予定について、講演者は確定しているもののスケジュールを変更する旨、報告があった。

## 3) 基礎分析化学講習会について

基礎分析化学講習会等 WG 責任者・西氏から、資料 No. 2-1 に基づき、① 6 月 7 日に充実した内容にて開催された第 1 回基礎分析化学講習会には定員 15 名に対して 18 名の参加申込があり、残念ながら 3 名の方に参加いただけなかったこと、② 10 月 20 日に第 1 回基礎分析化学講習会「電子回路の基礎の基礎—導電率計を作って、測ってみよう—」を開催すること、③ 12 月に開催予定の第 3 回基礎分析化学講習会の準備状況について報告があった。

## 4) 提案公募型セミナーについて

提案公募型セミナー WG 責任者・椎木氏から、資料 No. 2-2 および幹事会資料 No. 8-2 に基づき、辻氏から提案のあった「法科学に有効な機器分析法」を採択したい旨、説明があった。辻氏による補足説明の後、全会一致で提案公募型セミナー支援事業として辻氏のセミナーを採択することを決定した。また、予算の関係から、今年度は、もう 1 件程度の提案公募型セミナー支援事業を実施する予定である旨、提案があり、全会一致で、これを承認した。

## 5) ホームページ&分近ニュースについて

ホームページ&ニュース WG 責任者・諏訪氏から、資料 No. 2-3 および幹事会資料 No. 8-3 に基づき、ぶんきんニュースの原稿執筆担当者および執筆依頼担当者に関するガイドライン（案）、ならびに投稿規定（案）が提案され、協議した結果、これを承認した。また、ぶんきんニュース冊子体の印刷配布に関わる経費削減案が提案された。

## 6) 第 5 回平成夏期セミナーについて

若手セミナー WG 責任者・永井氏から、資料 No. 2-4 に基づき、一般 16 名、学生 60 名およびパネラー 8 名の合計 84 名が参加し、第 5 回分析化学会近畿支部平成夏期セミナーが開催予定であること、支部からの財政支援を 15 万円に押さえることができたことなどについて説明があった。また、本セミナーを来年度以降も実施するために支部からの支援予算の確保について要望があった。

## 4. 近畿支部役員候補者推薦の件

萩中支部長から、支部役員からの事前推薦状況について説明があるとともに、候補者の推薦が依頼され、

協議した結果、全会一致で各役員について数名の候補者を推薦することとした。尚、2012年度（平成24年度）「ぶんせき」編集委員は森内氏が留任のため候補者推薦を行わなかった。

#### 5. 国際交流助成・奨励賞選考委員選出の件

萩中支部長から、資料 No. 3 に基づき、これまでの選考委員ならびに支部役員から事前の推薦状況について説明があり、協議した結果、全会一致でそれぞれの選考委員会について選考委員 7 名を選出した。

#### 6. 日本分析化学会第 62 年会（2013 年）の開催について

萩中支部長から、本部より会長名で日本分析化学会第 62 年会（2013 年）の近畿支部での開催依頼があったと報告があり、その開催の諾否が諮られ、全員一致で承認された。また、第 62 年会は近畿大学を第一開催候補地として調整が進んでいることが報告された。

#### 7. その他

##### 1) 近畿分析技術研究国際交流助成の選考結果について

前田初男氏から、資料 No. 4 に基づき、2010 年度第 2 期の当該助成について 3 名が選考された旨、報告があった。尚、一身上の理由により、そのうち 1 名が 7 月 27 日付で本助成を辞退した。

##### 2) 近畿分析技術研究懇話会内規改定（案）について

副会長・加納氏から、幹事会資料 No. 11 に基づき、内規改訂（案）および運営・役員選考に関する申し合わせ（案）について説明があり、協議した結果、全会一致で、これらを承認した。

##### 3) 検討課題である支部事業について

萩中支部長から、資料 No. 5 に基づき、支部財政を鑑み見直すべき支部事業に対する将来構想委員会からの以下の提案について説明があった。①ぶんきんニュースの印刷製本配布を原則廃止すること、②国際交流助成は今年度から 1 件当たりの助成額を減額して実施すること、③来年度以降も夏期セミナーを実施するが予算は今年度並みにすること。これらについて協議した結果、提案①と②は全会一致で承認された。また、提案③について協議した結果、支部から 15 万円および若手基金から 10 万円の合計 25 万円を支援することが全会一致で決定された。

以上